

令和8年5月8日

タイムズグループ
(代表:タイムズ24株式会社)

令和7年度 事業報告（京都駅八条口貸切バス乗降場等）について

京都駅八条口貸切バス乗降場等の管理に関する協定書第5条に基づき、下記のとおり報告いたします。

1 施設概要

名 称	京都駅八条口貸切バス乗降場 京都駅八条口貸切バス臨時降車場
所 在 地	京都市南区東九条西山王町32番地 京都市南区東九条室町49番地
設 置 年 月	平成29年7月
利用料金制度	有
設 置 根 拠	京都駅八条口旅客自動車待機場等条例
設 置 目 的	京都駅八条口の周辺の道路における安全かつ円滑な交通の確保を目的に、予約管理や貸切バス配車システムを運用するに当たり、旅客自動車を利用する旅客の乗降の用に供するため
施設の概要	貸切バス乗降場 12バース 敷地面積：約2,010㎡ 供用時間 24時間

2 指定管理者

名 称	タイムズグループ（代表団体：タイムズ24株式会社）
所 在 地	東京都品川区西五反田二丁目20番4号
指定期間	令和7年4月1日～令和11年3月31日

3 業務運営状況

(1) 事業概要

① 施設の管理運営

- ・統括業務（窓口・管理運営統括・改善企画と立案・経理関係等）
- ・運営管理業務（乗降場統括管理責任・機器定期保守点検・売上金回収等）
- ・コールセンター業務（利用者窓口業務等）
- ・維持管理等（日常点検・施設修繕・トイレ清掃・トラブル対応等）
- ・常駐係員配置（繁忙期・通常期）

② 事業実施

- ・出入口ゲート機器、場内事前精算機の維持管理（オンラインシステムによる監視含む）
- ・出入口のETCアンテナによる車載器搭載車両の入出庫管理
- ・バス予約システムの導入（予約可能時間6時～18時）
 - ① 京都駅八条口貸切バス乗降場
 - ② 東本願寺前市民緑地
 - ③ 京都駅八条口貸切バス臨時降車場
- ※②③は繁忙期となる5月、6月のみ予約
- ・デジタルサイネージによる予約状況の配信
- ・監視カメラ設置（場内監視、安全確認）
- ・常駐係員のタブレットで予約車両の入庫管理

③ サービス提供状況

- ・令和7年4月1日～令和8年3月31日

【通常期】3名体制

責任者：1名（8：00～17：30）

副責任者：1名（8：00～17：30）

一般：1名（6：00～18：00）

【繁忙期（5月～6月以外）】4名体制

責任者：1名（8：00～17：30）

副責任者：1名（8：00～17：30）

一般：2名（6：00～15：00、9：00～18：00）

【繁忙期（5月～6月）】6名体制

責任者：1名（8：00～17：30）

副責任者：1名（8：00～17：30）

一般：4名（6：00～15：00 1名、7：30～16：30 1名、9：00～18：00 2名）

※ 貸切バス配車システム運用・臨時降車場運用実施の場合

④ 市内中小企業への発注に対する考え方

- ・日常トイレ清掃業務、緊急時の警備対応等の業務について、市内中小企業へ発注。
- ・新たな業務等を検討する場合は、市内中小企業への委託を前提に検討。

施設の利用状況

① 利用台数

年 度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目 標 値	93,452 台	93,452 台	97,698 台	97,698 台
実 績 値	96,217 台	台	台	台
対前年度比	—	%	%	%
目標達成度	103.0%	%	%	%

② 稼働率

年 度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目 標 値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実 績 値	37.7%	%	%	%
対前年度比	—	%	%	%
目標達成度	75.4%	%	%	%

(2) 指定管理業務の収支状況

① 収入状況

(円)

年 度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
委 託 料	—	—	—	—
利 用 料 金	77,429,000			
収 入 計	77,429,000			
対前年度比	—	%	%	%

② 支出状況

(円)

年 度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
人 件 費	30,387,601			
事 業 費	8,833,037			
委 託 費	6,093,670			
その他	10,233,980			
支 出 計	55,548,288			
対前年度比	—	%	%	%

③ 収支

(円)

年 度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収 支	21,880,712			

4 施設利用者の満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

バス乗降場の運営及びバス予約サービスの利用について、日々の運用の中で、主要バス会社、利用頻度の高い旅行会社、夜間乗合バスの組合等へのヒアリングを行った。

(2) 利用者満足度把握の結果

【主なご意見】

- ・ 降車利用でも予約したい。
- ・ 臨時降車場において、高額紙幣も使える様にして欲しい。
- ・ 繁忙期にツアー専用予約ができるようになったので予約がとりやすくなった。
- ・ 臨時降車場において、公共性の高いイベント等においてはバス以外の利用も認めて欲しい。

(3) 意見等への対応状況

- ・ 運用上、乗車利用を優先としており、乗車利用枠を確保するために乗車予約のみとしているが、適時必要に応じ、臨時降車場での降車利用等の受け入れを実施した。
- ・ 臨時降車場での高額紙幣の使用に関しては、精算機器の載替が必要となるため、直近での対応は困難である。
- ・ 京都市と連携し、公共性の高いイベントに関しては、乗降場のバスの混雑状況を加味し、京都市の承認を得た上で、協力を実施。
- ・ 混雑する時間帯の予約台数を調整し、スムーズな出庫ができるよう取り組んだ。
- ・ 乗降場でのお声がけを徹底することで、乗降場の滞留による混雑解消に努めた。
- ・ 自然災害等に起因する新幹線の遅延など不測の事態発生の際は、現地配置人員の増員等により、フレキシブルに対応した。
- ・ 運用配置人員の意思疎通を強化するため、トランシーバーを導入した。

5 業務評価

(1) 指定管理者（自己評価）

- ・ 場内安全対策を検討の上実施（バースライン劣化の是正・利用者つまづき防止策の実施）
- ・ 利用台数については、目標対比 103%と達成。
尚、利用料金収入は 77,429,000 円となった。
今後は貸切バス乗降場における入出庫の適正化（機器入替）も見据え、京都市連携の上、安全面は考慮の上、今まで以上にスムーズな運用を検討する。
- ・ 京都市と協議の上、臨時降車場に関わる運用の多角化を検討し、駅周辺渋滞緩和及び事故防止にも寄与出来るように検討する。